

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野・唐沢		
科目名	美容理論（メイク）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	4
教育目標・ねらい	メイク技術の基礎をとなる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	メイクアップ概論 メイクアップの道具 【到達目標】メイクアップアーティストとしての心構えや道具の種類を理解する				
2	ゴールデンプロポーション 【到達目標】ゴールデンプロポーションの比率を理解する				
到達目標	メイクアップ（皮膚の構造、顔のプロポーション、ナチュラルメイク技術、イメージメイク）の基礎知識が理解できている				
評価方法	期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	「美容技術理論1・2」「プロフェッショナルメイクアップテキスト」				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	境 星野 唐沢		
科目名	美容理論（ネイル）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	2
教育目標・ねらい	ネイル技術の基礎をとなる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の習得を目指す				
授業回	学習内容			備 考	
1	ネイル技術概論・爪の構造と働き 【到達目標】 ネイルの歴史やネイルの技術体系、爪の構造と働きを理解する				
到達目標	爪の構造、ネイル技術の種類、ネイル検定3級・2級、ジェルネイル初級検定に必要な基礎知識が理解できている				
評価方法	期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	「美容技術理論1・2」「JNAテクニカルシステム」				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	村田		
科目名	美容理論（化粧品検定2級）	学 年	1年	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	20
教育目標・ ねらい	肌の仕組みや髪の毛の構造,化粧品について美容の知識を幅広く学び、美容への興味関心を深める				
授業回	学習内容				備 考
1	美容皮膚科学 シミ 【到達目標】皮膚の構造、シミが出来る仕組みについて理解する				化粧品検定2級内容
2	シミ、しわ等の肌悩みの原因、対処法 【到達目標】シミ、しわ等の原因と対処法について理解する				化粧品検定2級内容
3	紫外線 【到達目標】紫外線について学習し理解する				化粧品検定2級内容
4	生活習慣美容、睡眠、食事、運動、入浴 について 【到達目標】生活習慣美容、睡眠、食事、運動、入浴 について学び理解する				化粧品検定2級内容
5	日本化粧品検定2級模擬試験				化粧品検定2級内容
6・7	化粧品科学 【到達目標】化粧品科学について理解する				化粧品検定1級内容
8・9	配合成分 【到達目標】化粧品の配合成分について理解する				化粧品検定1級内容
10	香料 【到達目標】香料について学習し理解する				化粧品検定1級内容
到達目標	肌の仕組みや髪の毛の構造,化粧品について美容の知識を幅広く学び、美容への興味関心を深めると共に、学んだ知識を技術のスキルアップへ繋げる 化粧品検定2級合格				
評価方法	出席状況 検定試験				
テキスト	日本化粧品検定2級公式テキスト				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	池田		
科目名	美容美術(デッサン)	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間(単位)	30
教育目標・ ねらい	色彩の理論を理解し、それを応用したテーマ作品を根気よく創造し、色彩の美を体感できるようになる。期待に添えるヘアメイクの技術提供ができるようになるため、美術の教養と技術を身につける。				
授業回	学習内容				備 考
1	1.人物デッサンⅠ-顔の描写と韓流メイク 【到達目標】 ①バランスよく、おでこ、鼻、唇、目などを描けるようになる。 ②並行眉、まつげの向き、涙袋の下のラインの強調など描写しながら習得する。 2.色彩の基礎Ⅰ-色の3原色より色相環の作成 【到達目標】 ①PCCSの色番号やトーンなど色彩の基礎を解釈する。②3原色の絵の具を適量混ぜながら24色相を作り出し相応しい色を着色する。隣同士が同じような色にならず、均等配色を目指し、色の段階や色相の配置を体感できる。③水量を調節しムラなくはみ出さずに美しく着色できる。				A4ケント紙、絵の具一式、定規、水入れ、配色カード
2	色彩の基礎Ⅱ-トーン表とグラデーションづくり、各肌色に似合う茶色 【到達目標】 ①明度、彩度、中間色など色彩の理解を深める。 ②一つの色相を選び、そのトーン表の作成をする。例えば赤(色相)白、黒の絵の具の量を調節して混色し12トーンを作る。 ③色相を用いた、または、トーンを用いたグラデーションを選んだ色で作る。色の境目ができないように筆跡を重ねてなだらかに見せる。 ④色相24, 2、4、6、8(マゼンタ、赤、オレンジ、黄)に黒を混ぜて赤系から黄系の茶色をつくる。 ⑤ピンク系に似合うブルーベース、オークル系の肌に似合うイエローベースの色や、パーソナルカラー、4シーズンの色彩を分類する。				絵の具一式、定規、水入れ、配色カード
3	1.色彩の基礎Ⅲ-補色の混色 【到達目標】 ①補色同士の混色をしグレーを作る。金髪色に紫や赤みの頬にグリーンのコントロールカラーの例より補色同士の混合による彩度の緩和を行う。 2.バラのデザイン画Ⅰ-下書きと配色計画 【到達目標】 ①マス割、模写の方法を学ぶ。直線か、曲線か、線の凹凸の位置、ガイドの線のどこを通過しているかなど、模写の方法やコツを学び実施する。1マス1マス確認しながら輪郭線の模写をする。②第2-5回の色彩の基礎の演習と学習を生かし、色相環を使ったグラデーション、1色相でトーンを変化させるグラデーション等、バラの配色の計画を立てる。				A4ケント紙、絵の具一式、定規、水入れ、配色カード

授業回	学習内容	備 考
4	1.色彩の基礎- 【到達目標】 第1~3回の「色彩の基礎」の演習や講義内容の復習と、定着しているか確認する。テスト結果を踏まえて理解していない単語などを再確認する。 2.バラのデザイン画-II-着色 【到達目標】 ①モノトーンのバラの写真の1-5段階の明暗（白～黒）を、計画した明暗5色のカラーのグラデーションに置き換えることができる。②いちばん暗い部分を3段階くらいのグラデーションで塗る。③一つの花びらの中に5,6色ほどのグラデーションの変化があることを理解し、写真のグラデーションの色の変化と同様に明暗の5-6段階で塗り分ける。	小テスト実施 絵 の具一式、定規、 水入れ、配色カード
5	バラのデザイン画-配色計画Ⅲ、着色と背景 【到達目標】 ①稜線を意識し、形、面が変わるところは色が変わることを理解し立体感を出す。 ②直線や曲線などの細部の描写、色彩や線により、心情や個性を表現する ③ 配色カードを当て背景によりバラの見え方が変化することを理解し効果的な背景色を選んで塗る。 ④十人十色のバラのデザイン画を鑑賞しデザイン性の高い、完成度の高い美しい作品を考え、自らの完成度を客観的に評価し、改善すべき点を述べる。	絵の具一式、定規、 水入れ、配色カード
6	人物デッサンII-前、横からの頭部の描写 【到達目標】 ①バランスよく、おでこ、鼻、唇、目などを描けるようになる。 ②毛髪は曲線の傾きを追って描き、鉛筆の濃淡や練りゴムで光（白）を入れることで明暗、艶を出し立体感を学出す。美容の現場で美しい女性が短時間で描けるようになることを目指す。	色鉛筆、鉛筆、 練 りゴム
7	1.人物デッサンⅢ-色鉛筆を用いた描写 【到達目標】 ①顔の形、左右の目の大きさなどバランスよく描けるようになる。②色鉛筆を混ぜて影などを塗り分け立体感を出す。色鉛筆の濃淡で毛髪のカラーのグラデーションを作ることができる。 2.選択デザイン-次課題の解説Ⅰ	色鉛筆、鉛筆、 練りゴム
8	選択デザイン-数などを用いたデザインの考案Ⅰ 【到達目標】 シンメトリー、リピート、関数、黄金比の美を理解し、選んだテーマに沿って作品を考案する。①計画：二乗した数の合計が用紙にうまく入よう縮小したり、作品が中央に配置されるなどレイアウトができる。②色彩計画：モノトーンと有彩色、360度色相、2色相のグラデーションなど配色計画を立てる。③マスキング、定規、コンパスなどの道具を用いて美しく作図、着色を3割まで進める。	A4ケント紙、絵の具 一式、定規、水入れ、 配色カード
9	選択デザイン-数などを用いたデザインの考案Ⅱ 【到達目標】 ①作品のグラデーションの変化が適切か、ワンポイントに他色相の色を低面積に入れるかなど配色カードを用いて検討しながら作品を着彩を7.8割まで進める。	絵の具一式、定規、 水入れ、配色カード

授業回	学習内容	備 考
10	選択デザイン- 【到達目標】 丁寧に仕上げる。数などを用いたデザインの考案Ⅲ 無から作品を作り出す喜びを味わう。シンメトリーはヘアやファッションショー等舞台の構成でもよく使われる。リピートでは同じ形を繰り返し使う効果を学習、関数を用いたデザインでは数倍または2乗した数の並びの美しさを学ぶ。その中でデザイン力が向上し他の学習面への興味も高まる。	絵の具一式、定規、 水入れ、配色カード
到達目標	色彩の理論を用いた色彩計画や配置に基づき美しい作品を創造することができる。また業界で役立つ色彩検定の取得を目指す。美術の教養と技術を身につけ色彩の美を体感できるようになる。期待に添えるヘアメイクの技術提供のため人物画を描くことができるようになる。	
評価方法	作品のデザイン性と完成度、仕上がりで、各課題を100点満点で採点します。課題にかかる時間数や重要度により、人物デッサン1、色彩の基礎、小テスト、バラのデザイン画、人物デッサン2、選択デザイン、副課題の加点、提出遅れや居眠り、制作遅れ等の減点、をそれぞれ1:1.5:1:2:1.5:1.5（予定）で集計し、100点満点の成績点といたします。合格点は60点です。	
テキスト	プリント	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野・唐沢		
科目名	美容実習（メイク）	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	80
教育目標・ ねらい	メイクを学びながら、メイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	オリエンテーション（メイクアップアーティストとは） 道具確認・セッティングetc 【到達目標】メイク授業の目標と内容を理解する アイブロウペンシルを長刀に削れるようになる				
2	印象操作（ゴールドデンプロポーション・パーツ特徴とバランス） 【到達目標】ゴールドデンプロポーション(パーツ配置)を理解し、自分の顔をゴールドデンプロポーションに近づけることが出来る				
3～4	スキンケア（クレンジング～乳液・下地） 【到達目標】クレンジング、化粧水、美容液、乳液、下地の目的を理解し、塗布する事が出来る				
5	コントロールカラー （クレンジング～スキンケア復習＆コントロールカラー） 【到達目標】コントロールカラーの目的と色の特徴を理解する事が出来る				
6～7	ファンデーション （クレンジング～コントロールカラー＆ファンデーション・コンシーラー含む） 【到達目標】ファンデーションの目的を理解し、塗布する事が出来る				
8～9	アイブロウ①（基本） （ファンデーション～基本アイブロウ） 【到達目標】アイブロウの基本のバランスを理解し、描く事が出来る				
10～11	アイシャドウ（基本） （アイシャドウ＆アイブロウ・形指定） 【到達目標】アイシャドウを基本のバランスで塗る事が出来る				
12～13	アイライン（基本・リキッド＆ペンシル） （アイシャドウ＆アイライン＆アイブロウ・形指定） 【到達目標】半顔ずつリキッドとペンシル、道具を使い分けて基本のバランスでアイラインを引く事が出来る				

授業回	学習内容	備 考
14～15	アイメイク（アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ） （形指定・左右対称意識） 【到達目標】左右対称にアイメイクする事が出来る	
16～17	チーク①（基本） （アイメイク＆アイブロウ＆基本チーク） 【到達目標】水平、ラウンド、シャープにチークを入れる事が出来る	
18～19	リップ①（基本） （アイメイクorアイブロウorチーク＆リップ基本） 【到達目標】基本のリップの形を描く事が出来る	
20～21	メイク模擬試験 【到達目標】スキンケアから仕上げまで、モデルさんの顔をゴールデンバランスに上げることが出来る	
22～25	前期メイク実技試験 【到達目標】スキンケアから仕上げまで、モデルさんの顔をゴールデンバランスに上げることが出来る	
26	ファンデーションの応用①（シアー・ツヤ） 【到達目標】シアー・ツヤ肌の特徴を理解し、仕上げる事が出来る	
27	ファンデーションの応用②（マット・パール） 【到達目標】マット・パール肌の特徴を理解し、仕上げる事が出来る	
28	アイブロウの応用①（直線・短・淡）＆（曲線・短・淡） （ファンデーション～2パターン・アイブロウ） 【到達目標】半顔ずつ（直線・短・淡）と（曲線・短・淡）、2パターンのアイブロウを描く事が出来る	
29	アイブロウの応用②（直線・長・濃）＆（曲線・長・濃） （ファンデーション～2パターン・アイブロウ） 【到達目標】半顔ずつ（直線・長・濃）＆（曲線・長・濃）、2パターンのアイブロウを描く事が出来る	
30	アイシャドウの応用①（切れ長＆丸み） （アイシャドウ＆アイブロウ・形指定） 【到達目標】半顔ずつ（切れ長＆丸み）、2パターンのアイシャドウを塗る事が出来る	
31	アイシャドウの応用②（立体強調＆上昇） （アイシャドウ＆アイブロウ・形指定） 【到達目標】半顔ずつ（立体強調＆上昇）、2パターンのアイシャドウを塗る事が出来る	

授業回	学習内容	備 考
32	アイラインの応用（全種類） （アイシャドウ塗らずアイラインのみ・リキッド&ペンシル） 【到達目標】 半顔ずつリキッドとペンシル、道具を使い分けて垂れ目、中央強調、囲み、切れ長、キャット型のアイラインを引く事が出来る	
33	チークの応用（3パターン） （アイメイクorアイブロウ・形指定&3パターンチーク） 【到達目標】 指定された形にチークを入れる事が出来る	
34	リップの応用（3パターン） （インカーブ・ストレート・アウトカーブ） 【到達目標】 インカーブ、ストレート、カーブのリップを描く事が出来る	
35	ハイライト&ローライトの応用 （ファンデーション～顔型別修正） 【到達目標】 顔型に合わせ、必要な場所にハイライトとローライトを入れる事が出来る	
36	エレガントメイク 【到達目標】 エレガントなイメージのメイクを仕上げる事が出来る	
37	クールメイク 【到達目標】 クールなイメージのメイクを仕上げる事が出来る	
38	キュートメイク 【到達目標】 キュートなイメージのメイクを仕上げる事が出来る	
39	フレッシュ 【到達目標】 フレッシュなイメージのメイクを仕上げる事が出来る	
40	後期メイク実技試験 【到達目標】 お客様の要望を伺いイメージ通りのメイクアップを提供することができる	
到達目標	お客様の要望に合わせたメイク技術を提供できるようになる ユニオン認定試験合格	
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	プロフェッショナルメイクアップアーティスト公式テキスト	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	安東		
科目名	美容実習（メイクセラピー）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	36
教育目標・ ねらい	化粧心理学、メイクセラピー的心理学、カウンセリング概論を理解する 「オーダー」された内容のメイクを施すことができる				
授業回	学習内容			備 考	
1	メイクセラピー検定とは？受験の心得、注意点 印象分析（パーツバランス） グループワーク（印象分析）			テキスト＆メイク道具 一式は毎回持参	
2	色彩とメイク				
3	メイク実習（知的） カウンセリング概論①				
4	化粧心理学				
5	メイク実習（穏やか）（健康的）				
6	メイクセラピー的心理学				
7	メイク実習（可愛い）（華やか）				
8	印象分析（コミュニケーション） メイク実習（知的）				
9	論述問題対策（事例に学ぶ・カウンセリング概論②）				
10	メイク実習（オーダー内容の再確認・復習）				
11	模擬試験（筆記）				
12・13	模擬試験（実技） 1 グループ・2 グループ				
14	筆記及び実技試験の総復習				
15・16	検定筆記（60分）全員				
17・18	検定実技（30分） 1 グループ・2 グループ				

到達目標	メイクセラピー検定 2 級合格
評価方法	授業態度、出席状況、ノート提出、模擬試験（実技・筆記）検定
テキスト	メイクセラピー検定 2 級テキスト
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は10年以上の美容部員の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野 齊藤		
科目名	美容実習（セット試験課題）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	50
教育目標・ ねらい	ヘアセットを学びながら、ヘアメイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	ウィッグ配布、道具の並べ方頭部、道具の名称 【到達目標】道具類の置き方、頭部の名称、道具の名称、使用目的を理解する				
2	ウェット、スライス、コーミング 【到達目標】コームの持ち方、コームの回転、ウェットの仕方、スライスのとり方、コーミングの仕方が理解できる				
3	カールアイロン 【到達目標】カールアイロンを使用し、フォワードカール、リバースカールができるようになる				
4	ホットカーラー 【到達目標】オンベース、オフベースを理解し、ホットカーラーを巻けるようになる				
5	ホットカーラー 【到達目標】オンベース、オフベースを理解し、ホットカーラーを巻けるようになる				
6	ピンニング 【到達目標】ピンの使用目的、使用方法を理解し、ピンニング出来るようになる				
7	黒ゴム 【到達目標】黒ゴムの使用目的、使用方法を理解する				
8	一束 【到達目標】黒ゴムを使用し、毛束を1つに束ねることが出来るようになる				
9	すき毛 【到達目標】すき毛の使用目的、使用方法を理解する				
10	すき毛一束 【到達目標】すき毛を使用し1束を作れるようになる				
11	ボトムのデザイン 【到達目標】いろいろな方法でボトムをデザインすることが出来る				
12	逆毛 【到達目標】逆毛の目的を理解し、逆毛を立てられるようになる				
13	前髪 【到達目標】下ろし流し立ち上げの前髪をつくれるようになる				

授業回	学習内容	備 考
14	試験課題 【到達目標】試験課題を理解する	
15	試験課題 【到達目標】試験課題を理解する ボトムデザイン、すき毛の理解を深める	
16	試験課題 【到達目標】試験課題を理解する フロント、サイド、トップの理解を深める	
17	仕込み 【到達目標】仕込みの方法を学習し、試験課題の理解を深める	
18	試験課題 【到達目標】試験課題の理解を深める すき毛の形と大きさを理解する	
19	試験課題 【到達目標】審査ポイントを理解し、試験課題の理解を深める	
20	試験課題 【到達目標】各パーツの作り方を復習し、試験課題の理解を深める	
21	試験課題 【到達目標】各パーツ（フロント、サイド、トップ）の作り方を復習し、試験課題の理解を深める	
22	試験課題 【到達目標】試験課題を30分で作れるようになる	
23	試験課題 【到達目標】試験課題が30分で作れるようになる	
24	試験課題 【到達目標】試験課題を30分で作れるようになる	
25	試験課題 【到達目標】セットの基本技術(ブラシワーク、ピンング、黒ゴム)を習得し、面構成スタイルを作成すること出来るようになる	
到達目標	セットの基本技術(ブラシワーク、ピンング、黒ゴム)を習得し、面構成スタイルを作成すること出来るようになる	
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	配布資料	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	美容実習（セット試験課題）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	ヘアセットを学びながら、ヘアメイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容			備 考	
1～5	試験課題 【到達目標】試験課題を理解する				
6～28	試験課題 【到達目標】試験課題を30分で作れるようになる				
29～30	試験課題 【到達目標】セットの基本技術(ブラシワーク、ピニング、黒ゴム)を習得し、 面構成スタイルを作成すること出来るようになる				
到達目標	セットの基本技術(ブラシワーク、ピニング、黒ゴム)を習得し、自身で考え見本通りのスタイルが作れるようになる				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	美容実習（セットデザインヘア）	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	ヘアセットを学びながら、ヘアメイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1～2	カール 【到達目標】 フォワードカール、リバースカールなど色々なカールを作れるようになる				
3	ストレートアイロン 【到達目標】 ストレートアイロンの正しい使いかたを理解して、ストレートヘアとウェーブヘアを作ることが出来るようになる				
4～5	ブロー☒ 【到達目標】 デンマンブラシとロールブラシを使用し、ウィッグをブローすることができるようになる				
6	編む 【到達目標】 三つ編み、編み込みが出来るようになる				
7	ハーフアップ 【到達目標】 アイロンワークの復習をしながらハーフアップ作品を作製することができる				
8	編み込み 【到達目標】 アイロンワークの復習をしながら編み込み作品を作製することができる				
9	お団子スタイル 【到達目標】 アイロンワークの復習をしながらお団子スタイルを作製することができる				
10	ヘアアレンジ 【到達目標】 ホットカーラーを復習し、アレンジ作品を作製することが出来る				
到達目標	ヘアメイクの現場に必要なセット技術を身につけ、卒業後即戦力として活躍できるようになる				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	美容実習（セット相モデル実習）	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	12
教育目標・ ねらい	ウィッグではなく人に技術を施すことで、憧れだった職業を現実的に体感し、接客や技術力向上を目指す				
授業回	学習内容			備 考	
1	カウンセリング 【到達目標】お客様の要望を引き出すことができるようになる				
2～6	相モデル実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応えられる技術提供ができる				
到達目標	モデルの要望を引き出し、それに応えられる技術提供ができる				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	境、唐沢、星野		
科目名	美容実習（ネイル3級）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	ネイルの基礎知識、基礎技術を身につけ、ネイルに興味関心を持たせる				
授業回	学習内容			備 考	
1	道具のセッティング、使用方法 【到達目標】ネイル道具のセッティングができるようになる				
2	ネイル技能検定 3 級試験概要説明 【到達目標】ネイル技能検定 3 級試験の内容を理解する				
3	ファイリングカットスタイル 【到達目標】ファイリングカットスタイルの種類と定義を理解する				
4	ファイリング 【到達目標】ファイリングカットスタイル「ラウンド」の定義を説明することができるようになる				
5	ファイリング 【到達目標】「ラウンド」のカットスタイルを定義どおりにファイリングすることができるようになる				
6	ネイルケア(セルフケア) 【到達目標】プッシャーを使用し自身の爪のプッシュバック・プッシュアップ ニッパーハンドリングができるようになる				
7～8	ネイルケア(相モデル) 【到達目標】プッシャーを使用し相モデルのプッシュバック・プッシュアップ ニッパーハンドリングができるようになる				
9～10	ネイルケア模擬テスト 【到達目標】正しく安全に道具が使用できるようになる				
11	カラーリング 【到達目標】赤ポリッシュをムラなくきれいに塗る方法を理解することができる				
12	カラーリング 【到達目標】キューティクルラインやサイドラインをきれいに塗ることができるようになる				
13	カラーリング 【到達目標】赤ポリッシュをムラなくきれいに塗ることができるようになる				
14	ネイルアート 【到達目標】花のアートの描く手順を理解し、水分量を調節しながら花のアートを描くことができるようになる				
15～16	タイムトライアル 【到達目標】ネイルケアから仕上げまでの手順を理解する				
授業回	学習内容			備 考	

17～18	タイムトライアル 【到達目標】正しく道具を使用し、ネイルケアから仕上げまで時間内に終わらせる	
19～20	タイムトライアル 【到達目標】正しく道具を使用し、ネイルケアから仕上げまで時間内に正確に終わらせることができるようになる	
21～23	実技模擬試験 【到達目標】正しく安全に道具を使用し、ネイルケアから仕上げまで時間内に終わらせることができ、美しく仕上げるようになる	
24～26	実技試験 第1課題 35分 第2課題 50分	
27～29	実技試験 第1課題 35分 第2課題 50分	
30	ネイル技能検定対策 【到達目標】ネイル技能検定3級受験の準備と心構えができる	
到達目標	正しく、安全にネイル道具を使用することができるようになる 赤ポリッシュを美しく塗ること、花のネイルアートを描くことができるようになる ネイル技能検定3級に合格	
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は評価対象としない	
テキスト	JNAテクニカルベーシック	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	境、唐沢、星野		
科目名	美容実習（ネイル２級）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	ネイル応用技術を習得し、ネイル技術に深い関心を持たせる 人に喜んでもらえるようなネイル技術の提供ができるようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1	ネイル技能検定２級試験概 【到達目標】ネイル技能検定２級の内容を理解する				
2	ファイリング 【到達目標】検定２級レベルのネイルカット「ラウンド」を理解し、ファイリングできるようになる				
3	ファイリング 【到達目標】「ラウンド」という形を理解し、正確にファイリングすることができるようになる				
4～5	カラーリング 【到達目標】ホワイトパールのポリッシュをきれいに塗る手順を理解する				
6～7	チップ＆ラップ 【到達目標】チップ＆ラップという手法を理解し手順を覚える				
8～9	チップ＆ラップ 【到達目標】チップ＆ラップを正しく施術する				
10～11	チップ＆ラップ 【到達目標】チップ＆ラップを正しく施術し、ラウンドに仕上げるができるようになる				
12～13	チップ＆ラップ 【到達目標】チップ＆ラップを正しく施術し、他の９本の指と同じ長さでラウンドに仕上げるができるようになる				
14	ネイルアート 【到達目標】クローバーのアートが描けるようになる				
15	ネイルアート 【到達目標】クローバーのアートが検定２級合格レベルで描けるようになる				
16～18	実技模擬試験 【到達目標】時間内に技術手順を施すことができる				
19～21	実技模擬試験 【到達目標】時間内に正確かつ美しく仕上げるができる				
22～24	実技試験				

25	ネイル技能検定対策 【到達目標】 ネイル技能検定 2 級受験の準備と心構えができる	
到達目標	チップ&ラップというネイリストに必要な応用技術ができるようになる パールホワイトのような難しい色も美しく塗ることができるようになる ネイル技能検定 2 級に合格	
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない	
テキスト	JNAテクニカルベーシック	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	境、唐沢、星野		
科目名	美容実習（ジェルネイル初級）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	ジェルネイルの基礎知識、基礎技術を身につけ、ジェルネイルに興味関心を持たせる				
授業回	学習内容			備 考	
1	ジェルネイル検定初級試験概要説明、ジェルの扱い方 【到達目標】ジェルネイル検定初級試験概要とジェルの扱い方を理解する				
2	プレパレーション、クリアジェル塗布、オフ 【到達目標】プレパレーション、クリアジェル塗布、オフの手法を学び、施術 できるようになる				
3	ピーコックアート 【到達目標】ピーコックアートの手法を学び、施術できるようになる				
4	ジェルカラーリング 【到達目標】ジェルカラーリングの手法を学び、施術できるようになる				
5	ジェルカラーリング 【到達目標】ジェルカラーリングの手法を学び、美しく塗布できるようになる				
6	ケア、ポリッシュカラーリング 【到達目標】ケア、ポリッシュカラーリングを復習し、仕上げることができる				
7～9	タイムトライアル 【到達目標】時間を意識し、時間内に仕上げるようになる				
10～12	模擬試験 【到達目標】時間内に、正しい手順で仕上げるができる				
13～15	実技試験				
到達目標	正しく、安全にジェルネイル道具を使用することができる 赤いジェルネイルを美しく塗り、ピーコックのジェルネイルアートを描くことができる ジェルネイル初級検定合格				
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は 評価対象としない				
テキスト	JNAテクニカルベーシック				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力 となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	境、唐沢、星野		
科目名	美容実習（ジェルネイル中級）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	ジェルネイル応用技術を習得し、ジェルネイル技術に深い関心を持たせる 人に喜んでもらえるようなジェルネイル技術の提供ができるようになる				
授業回	学習内容				備 考
1	試験概要説明、フォーム説明 【到達目標】ジェルネイル検定中級試験概要とフォームについて理解する				
2	ジェルイクステンション(クリアスカルプチュア) 【到達目標】ジェルイクステンションの手法を理解する				
3	ジェルイクステンション(クリアスカルプチュア) 【到達目標】ジェルイクステンションの手法を理解し施術することができる				
4	ジェルイクステンション(クリアスカルプチュア) 【到達目標】ジェルイクステンションの手法を理解し仕上げることができる				
5	ジェルグラデーション 【到達目標】ジェルグラデーションの手法を理解する				
6	ジェルグラデーション 【到達目標】ジェルグラデーションの手法を理解し施術することができる				
7	ジェルグラデーション 【到達目標】ジェルグラデーションの手法を理解し仕上げることができる				
8	ジェルフレンチカラーリング 【到達目標】ジェルフレンチカラーリングの手法を理解する				
9	ジェルフレンチカラーリング 【到達目標】ジェルフレンチカラーリングの手法を理解し、施術することができる				
10	ジェルフレンチカラーリング 【到達目標】ジェルフレンチカラーリングの手法を理解し、仕上げることができる				
11～15	タイムトライアル 【到達目標】時間を意識し、時間内に仕上げるようになる				
到達目標	ジェルイクステンションという応用技術ができるようになる グラデーションやフレンチカラーができるようになる ジェルネイル検定試験中級合格				

評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない
テキスト	JNAテクニカルベーシック
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	渡辺・唐沢		
科目名	美容実習（着付）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	8
教育目標・ ねらい	和装の知識を学び、和装への興味・関心を高める				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	浴衣の着付け概要 【到達目標】 小物の名称・着物の各部の名称 準備の仕方・着物のたたみ方				
3・4	浴衣の着付け 【到達目標】 浴衣の着付け手順を理解し、着せ付けることが出来るようになる				
到達目標	和装の基礎知識を学習し、人に浴衣を着せ付けることが出来るようになる				
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	小山内		
科目名	美容実習(ブライダル)	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	24
教育目標・ ねらい	ブライダル業界に必要な知識や技術を学び、ブライダル業界への関心を深める				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	ブライダル検定概要 【到達目標】ブライダル業界で働くうえで必要な知識を学ぶと共に検定内容を理解する				
3・4	マナー・接客について 【到達目標】ブライダル業界における礼儀やマナーを理解する				
5・6	礼装について 【到達目標】礼装の種類を理解する				
7～14	髪 の 装着 【到達目標】髪 の 装着方法を学び、装着できるようになる				
15～18	ブライズビューティマイスター検定模擬試験				
19～22	ブライズビューティマイスター検定実技試験				
23・24	ブライズビューティマイスター検定筆記試験				
到達目標	ブライダル業界に必要な知識や技術を学び、ブライダル業界への関心を深め、卒業後即戦力となり活躍できるようになる ブライズビューティマイスター検定合格				
評価方法	出席状況 検定試験				
テキスト	ブライズビューティマイスターテキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は36年以上のヘアメイク、メイクアップの施術に従事しているだけでなく、設立以来30年の歴史を有するヘアメイク事務所の主宰者でもある。 この莫大な蓄積をもとに、化粧品に関する基礎的地識と取り扱い上の実践的なノウハウに関する授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	原田		
科目名	国家試験必須科目（関係法規・制度）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	(1) 美容師に必要な法を理解し、具体的な法の執行作用(行政処分等)について理解する (2) 正しい法理解に基づく遵法意識を持つ				
授業回	学習内容			備 考	
1	法の形式と美容師法について 【到達目標】 (1) 社会生活における法の役割を理解している (2) 美容師法の目的と用語を理解・記憶している (3) 美容師の義務への理解を通し、衛生の重要性を理解している			小テスト5問 国家試験過去問題 より出題	
2	1. 前回の振り返り、2. 美容師免許制度と衛生行政について 【到達目標】 (1) 美容師免許制度の概要を知り、3年後の国家試験の流れを理解する (2) 衛生行政の核となる保健所の美容業に対する関わりを学び、第4回授業の 基礎となる諸知識を理解し、記憶している			小テスト5問 国家試験過去問題 より出題	
3	1. 前回の振り返り、2. 美容所の開設・運営について 【到達目標】 (1) 美容所の開設の具体的方法を知る (2)美容所開設者の衛生措置と美容師の義務を対比して理解・記憶している (3) 管理美容師について学び、理容・美容師試験研修センターの役割について の理解を深める (4) 美容所以外での業務について知る			小テスト5問 国家試験過去問題 より出題	
4	1. 前回の振り返り、2. 美容師・美容所に対する行政処分 【到達目標】 (1) 美容所への立ち入り検査の概要と、その違反者に対する行政処分の種類を 理解・記憶している (2) 保健所の行政処分に対する異議申し立ての過程を理解している			小テスト5問 国家試験過去問題 より出題	
5	(1) 今まで学んだことのまとめ (2) 確認テスト				
到達目標	美容業に携わる人・施設がすべからく衛生に配慮すべきことが美容師法を貫く根本的概念であることを 理解できている。 このことにより、個々の規定の丸暗記ではなく的確な考察と、それに基づく適切な行動がとれるよう になっている。				
評価方法	確認テスト60点・各小テスト合計40点の合計100点満点で評価する。 なお、所定時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。				
テキスト	関係法規・制度(日本理容美容教育センター) 美容師法関係法令集				
学科	ビューティアーティスト科	担当教員	岩崎		

科目名	国家試験必須科目（衛生管理）	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	衛生管理・特に消毒法について学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	①衛生管理・②消毒等言葉の定義 【到達目標】①微生物と人との関係、ヒトの防衛力を知る ②消毒・殺菌・滅菌などの定義を学ぶ				
2	①消毒の方法・②消毒の手順 【到達目標】①理学的消毒法の特徴を学ぶ ②化学的消毒法の特徴を学ぶ、長所・短所を含む				
3	公衆衛生 1 【到達目標】WHO・公衆衛生の歴史を知る、各種保険について出生率・死亡率について学ぶ				
4	公衆衛生 2 【到達目標】生活習慣病について学ぶ（癌・脳卒中・心臓病など） 環境衛生について（水と健康、空気と健康など）				
5	環境衛生 【到達目標】冷暖房、上下水道と廃棄物について学ぶ、衛生害虫やネズミの駆除				
到達目標	衛生管理を理解し、感染から自分自身やお客様を守ることができるようになる。				
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	衛生管理 1・2 (日本理容美容教育センター)				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	木村		
科目名	国家試験必須科目(保健)	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	保健(人体)の基礎知識を得て、美容の実践に活かせるようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1	体表解剖学、骨格器系の主な名称や働きを学ぶ				
2	筋系、神経系の主な名称や働き、理美容の作業と筋疲労の関係を学ぶ				
3	感覚器系、血液・循環器系の主な名称や働きを学ぶ				
4	呼吸器系、消化器系の主な名称や働きを学ぶ。人体各部を総合的に理解する				
到達目標	美容師・皮膚の専門家としての知識を身につける				
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	保健(日本理容美容教育センター)				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	今野・星野・唐沢		
科目名	国家試験課題実習（ワインド）	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	美容技術理論の基礎とともに、技術内容ともあわせて理解することが出来るようにする。				
授業回	学習内容			備 考	
1	ワインディング概要 【到達目標】 正しい道具の持ち方や使用方法、正しい作業姿勢を理解する				
2～5	ブロッキング 【到達目標】 ワインディングの施術を正確に容易にするために、正しいスライスで毛髪を分け、頭部をいくつかに区分するブロッキング技術を理解する				
6～10	ワインディング基礎技術 【到達目標】 パーマネントウェーブ技術に必要な理論ならびにワインディング技術（上巻き、下巻き）が出来るようになる				
11～20	ワインディング国家試験課題 【到達目標】 国家試験課題の構成を理解する				
21～30	ワインディング国家試験課題（タイム20分） 【到達目標】 国家試験合格レベルで仕上げる事が出来る				
到達目標	国家試験課題であるワインドにおける正確な技術を身に付け、美容技術の幅を広げる卒業時に国家試験合格レベルに達している				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	「美容技術理論1」「美容実習1」				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野・唐沢		
科目名	ビジネスマインド	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	90
教育目標・ ねらい	学校生活における学習イメージをつけると共に、社会人としてのルールやマナーを学び 現場実習で対応できる力を身に付ける				
授業回	学習内容			備 考	
1	入学式 年間の節目合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する				
2	挨拶・表情訓練				
3	5 S、校歌 校歌歌詞理解				
4	9つの意識				
5	話の聴き方 ー受容と拒否				
6	宿泊オリエンテーション（2泊3日） ・何のために入学したのか ・2年後の到達目標設定、・1年後の到達目標設定				
7	自己振り返りシート作成・インタビューシート記入説明 自己振り返りシート解説				
8	報告・連絡・相談・指示				
9	PDCA				
10	芸術鑑賞（歌舞伎） 日本伝統芸能観劇を通して、日本文化の芸術を知る 芸術鑑賞の際のマナーを習得する、歌舞伎メイクの見せ方と見え方を学ぶ				
11	電話のかけ方・訪問のマナー				
12	お出迎えからお見送りまで				
13	大掃除 長期休暇前は使用した場所を綺麗にし、新たな気持ちで新学期を迎えられる環 境を自分たちでつくることのできる				
14	お礼状作成				
15	好感の持てる話し方・言葉遣い 丁寧な話し方 ー敬語ー				
授業回	学習内容			備 考	

16	プラス思考・マイナス思考	
17	前期終業式 年間の節目合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する	
18	後期始業式 年間の節目合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する	
19	防災館見学 災害時における避難体験や防災体験をし、災害時の判断力を養う	
20	スポーツ大会 スポーツを通し心身を豊かにすると共に、団結力及び協調性を身に付ける	
21	防災訓練 防災、災害に対する意識を高め、災害時に安心・安全に移動することができるようになる	
22	大掃除 長期休暇前は使用した場所を綺麗にし、新たな気持ちで新学期を迎えられる環境を自分たちでつくることのできる	
23	「身だしなみ」と「おしゃれ」	
24	LHR 長期休暇の過ごし方	
25	LHR 長期休暇明け学校の過ごし方意識付け	
26	キャリアビジョン作成	
27	ホスピタリティマインド	
28	長所・短所シート作成	
29	大掃除 長期休暇前は使用した場所を綺麗にし、新たな気持ちで新学期を迎えられる環境を自分たちでつくることのできる	
30	卒業式参列・終業式 年間の節目合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する	
到達目標	現場実習に必要な社会的マナー・主体性・コミュニケーション力を身に付けることができる	
評価方法	各単元のレポート・課題提出により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない	
テキスト	プリント ビジネス能力検定テキスト	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野 唐沢		
科目名	情報処理	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	社会で必要とされる情報活用能力を習得。 PCスキルアップ（Word、Excel、Powerpoint、HP制作）。クラウド活用とプレゼン能力の 向上				
授業回	学習内容			備 考	
1	授業全体の説明、職業に関する意識調査（クラウド利用） 効果的な就活情報収集と学習～就活便利アプリとSNSについて			プロジェクタ	
2	P C 基本操作、OSとアプリについて、タッチタイピング、ネット検 索、企業情報の調べ方、適正診断（エゴグラム）				
3	Word基本操作① ビジネス文書作成、データ入力～書式設定、ページ 設定、ヘッダーフッター、印刷設定				
4	Word基本操作② 表の作成（自己PRカード作成）、画像の挿入～チ ラシ作成、【Word確認テスト実施】				
到達目標	①情報活用能力 ②PCスキル ③伝える力 ④問題解決力 ①～④を習得				
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数 （全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料（A4）毎回前日にメール送信予定				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	人見		
科目名	表現技術（国語と文章）	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	社会に必要なビジネスマナーと面接対策、ビジネス検定試験合格へのスキルを身につける。 接客コミュニケーション、接客時の立居振舞い、なぜビジネスマナーは必要なのかを考える。 日本経済や歴史、情報収集、社内文書作成方法など幅広い知識を取得し、社会人として役立てるスキルを学ぶ。				
授業回	学習内容				備 考
1	授業ガイダンス：マナーとは何か 第一印象が大切な理由 笑顔と美しいの作り方、敬語の種類、発声法。早口言葉。活舌と声の種類。 面接や仕事場での自己紹介、立ち方、座り方。接客案内時の手の動きと方向。 自分の強み、弱み、魅力を見つける。面接ロールプレイング。 ドアの開閉と接遇、ご案内。				
2	図表、グラフの見方。統計を学ぶ。ビジネス文書の作成方法(社内・社外) 試験 で解答に必要な箇所の読み取り方。 サービスとは：接客ノウハウ。クレーム処理。プラスの一言。 クッション言葉。 売上を上げるために必要なことを学ぶ。 顧客獲得方法とミステリーショッパー対策。				
3	電話対応：受電と架電。お客様の心理状態を読む。 表情が見えない時の対応方法。メモの取り方。5W2H。 トークスクリプトを使用したロールプレイング ビジネス検定試験に必要な暗記方法と勉強方法。ビジネス用語。 ビジネスメールのやりとり。				
4	ビジネスチャンスを広げる。先を読む力。お客様の支持を得る方法を学ぶ。 要望とニーズの違い。キャリア形成とは。就職、転職、再就職、現代の働き方。 コンプライアンスと接客の基本。売上戦略とは。新聞の読み方、8つの意識。 PDCAサイクル。TPO,社外の付き合い方、冠婚葬祭。				
5	過去問題集：テスト形式、本番形式による筆記試験と自己採点。解答解説。				
到達目標	社会に必要なビジネスマナーの取得。美しい所作、立ち居振る舞いを身につける。 ビジネス検定試験のテキストを参考に、洗練された接客対応の実践が出来るようになる				
評価方法	期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は 受験することができない				
テキスト	2022年 ビジネス検定試験テキスト、問題集。配布プリント。				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	石川		
科目名	ファッション学（色彩学）	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義／演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	46
教育目標・ ねらい	AFT色彩検定3級及び2級の内容を通して、色彩に対する興味と理解を深め、将来の職業に役に立つ色彩の知識とセンスを修得する。				
授業回	学習内容			備 考	
1	検定内容の説明・授業の進め方・目標設定 色彩のはたらき・カラートランプ作成 【到達目標】 (1) 検定の内容と授業の目的を理解し、目標を設定する (2) 楽しく学ぶためのカラートランプを作成する			3級・2級テキスト カラーカード 筆記用具	
2	色の分類と三属性・PCCS 【到達目標】 検定合格に必須となるPCCSの基本を理解する			同上	
3	色はなぜ見えるのか・目のしくみ・照明と色の見え方 【到達目標】 色が見える仕組みを理解し、色に対する興味を持つ			同上	
4	混色 【到達目標】 二つの混色の違いを理解し、混色によって色を作り出せる知識を修得する			同上	
5	色の心理的効果・色の視覚効果 【到達目標】 ・色彩心理テストを通して色が心や視覚に与える効果を知り、実践してみる ・色の対比と同化、その他様々な視覚効果を理解する			同上	
6	カラーカードを使用したゲーム、配色の基本的な考え方、色相を手がかりにした配色 【到達目標】 ・ゲームを通してPCCSのカラーを見分ける力を身につける。 ・配色の基本的な考え方と色相をもとにした配色とトーンをもとにした配色を理解する。			3級テキスト カラーカード 筆記用具	
7	トーンを手がかりにした配色・色相とトーンを手がかりにした配色 配色の基本的な技法・配色イメージ 【到達目標】 ・色相とトーンを組み合わせた配色を理解する。 ・配色技法を理解し、日常の中から見つけれられるようにする。			同上	
8	ファッションと色彩の解説・課題演習 【到達目標】 ・ファッションで活用されている色彩を事例とともに理解する。 ・次回行う課題発表の準備をする。			同上	
9	ファッションと色彩の課題発表、インテリアと色彩・色名 【到達目標】 ・ファッションにおける色彩の課題発表。 ・色名について理解する。			3級テキスト カラーカード 筆記用具	
授業回	学習内容			備 考	

10	色のユニバーサルデザイン、光と色 【到達目標】 ・ 日常にあるユニバーサルデザインについて色の活用方法を知る。 ・ 光と色の関係性について理解する。	2級テキスト カラーカード 筆記用具
11	マンセル表色系 【到達目標】 検定2級に必須となるマンセル表色系について理解するとともにPCCS表色系との違いについても整理する	2級テキスト カラーカード 筆記用具
12	色の視覚効果・色の心理効果 【到達目標】 色の視覚効果と心理効果について理解するとともに3級で学んだ内容との違いを整理する	同上
13	小テスト実施 【到達目標】 ここまで学んだ内容が理解できているかを確認する	同上
14	色彩調和・自然の秩序からの色彩調和、自然から学ぶ配色 【到達目標】 自然の秩序からの色彩調和と配色について理解する	同上
15	配色技法 【到達目標】 2級に出題される配色技法を理解し、それをもとにPCCSカラーカードを使用して配色できるようになる。	同上
16	イメージ別配色法 【到達目標】 配色とイメージを結びつけ、イメージをもとにPCCSカラーカードで配色できるようになる	同上
17	小テスト実施 【到達目標】 ここまで学んだ内容が理解できているかを確認する	同上
18	ビジュアルデザインの色彩、メディアデザインの色彩 【到達目標】 ビジュアルやメディアの仕事で活用されている色彩の知識を理解する	同上
19	ファッションの色彩と配色、インテリア 【到達目標】 ファッションでとインテリアで活用されている色彩の知識を理解するとともに3級で学んだ内容との違いを整理する インテリアで活用されてる色彩	同上
20	景観色彩・色名 【到達目標】 ・ 日常で活用されている景観の色彩を知る ・ 2級で出題される色名を覚える	同上
21・22	検定対策 【到達目標】 検定対策問題を通して、検定出題傾向に慣れるとともに身に付けた知識の確認をする	同上
授業回	学習内容	備 考

23	検定振り返り 【到達目標】 検定の答え合わせ及び自己採点を行い合格ラインに達しているかどうかを確認する	問題用紙 2級テキスト カラーカード 筆記用具
到達目標	色彩について興味と知識を深め、AFT色彩検定2級を取得すること。	
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る出席者は評価対象としない。	
テキスト	AFT色彩検定3級及び2級公式テキスト　AFTカラーカード	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は10年以上の美容サロン勤務及び4年以上のデザイン事務所勤務の経験を踏まえ、ビューティアーティストとして身につけるべき色彩構成と、それに基づく具体的提案ができるようにする	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	石井		
科目名	ファッション学	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	ヘアやメイクの技術実習を通し、ヘアメイクを職業として捉え、自身の進む方向を考えることができるようになる				
授業回	学習内容				備 考
1	(1) ヘアメイクの仕事について (2) 女性像を組み立てる 【到達目標】 ヘアメイクアップアーティストの仕事現状を知る 様々な女性像の表現方法を理解する				
2	メイクによる印象の違い 【到達目標】 メイクアップによる女性像の表現の違いを理解する				
3	ヘアによる印象の違い 【到達目標】 ヘアセットによる女性像の表現の違いを理解する				
4・5	トータルでの表現(自分でテーマを作る) 【到達目標】 自身でイメージした女性像を表現出来るようになる				
到達目標	女性像によって施す技術の違いを理解し、自分たちのイメージをカタチにする表現技術を習得する				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は勤務先美容サロンで培ったSNSでの情報発信等に活用できる色彩構成、ファッションコーディネート等に関する最新の知識等を踏まえ、ヘア、メイク、ファッションのトータルコーディネートの方法について指導する				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	REINA		
科目名	ファッション学（アニマルメイク）	学 年	1	実施時期	前期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	18
教育目標・ ねらい	特殊メイクを学び、技術の幅を広げ、表現力を向上させる				
授業回	学習内容			備 考	
1	企画 【到達目標】モデルの顔に似合う動物を決める				
2	作品制作① 【到達目標】自身で企画した動物メイクを仕上げる				
3	作品制作② 【到達目標】前回の作品をふり返り、前回よりブラッシュアップした動物メイクを仕上げる				
4	作品撮影 【到達目標】フォトコンテストに出展する作品を仕上げる				
5	企画 【到達目標】モデルの顔に似合う動物を決める				
6	作品制作① 【到達目標】自身で企画した動物メイクを仕上げる				
7	作品制作② 【到達目標】前回の作品をふり返り、前回よりブラッシュアップした動物メイクを仕上げる				
8・9	作品撮影 【到達目標】フォトコンテストに出展する作品を仕上げる				
到達目標	色々なメイクの手法を学び、作品制作に投影させ、フォトコンテストに出展させる				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は自ら主宰する美容サロンでの実績に加え、各種メディアでのグラビア、化粧品会社の広告宣伝等におけるメイクアップの経験により培った特殊メイク、ボディペイント等に関する高度な知識と技術を伝える				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	近田		
科目名	ファッション学（トレンドメイク）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	12
教育目標・ ねらい	メイクのトレンドや旬なコスメ情報を学び、メイクの引き出しと表現力の幅を広げる。デモンストレーションや資料を見ながらトレンド情報を発信。季節の肌作りからメイクバランスを理解し、メイクアップで表現出来るようになる。				
授業回	学習内容			備 考	
1	メイクトレンド①（サマー）				
2	メイクトレンド②（AW）				
3	メイクトレンド③（SS）				
到達目標	メイクの流行を理解する事とトレンドメイクバランスを習得し、メイクアップで表現出来るようになる。				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は15年以上の化粧品会社専属メイクアップアーティストとしての経験を活かし、個性を引き立て、なりたいイメージに合わせたメイク提案と、施術者自身で再現できるメイクアップ方法についての授業を行う				

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	Taca Ozawa		
科目名	ファッション学(パーソナルカラー)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	12
教育目標・ ねらい	色とメイクの関係性を理解し、メイクの知識と技術の幅を広げる				
授業回	学習内容			備 考	
1	カウンセリング 【到達目標】 色による肌の色や印象の変化を感じることができるようになる			カラードレープ メイク道具	
2	アドバイザー 【到達目標】 お客様に似合う色を提案できるようになる			カラードレープ メイク道具	
3	クリエーション 【到達目標】 モデルのパーソナルカラーを取り入れ、作品を仕上げる			カラードレープ ヘア、メイク道具 モデルの衣装	
到達目標	色による変化を学習し、お客様に似合う色を提案できるようになる 色とメイクの関係性を理解し、作ったメイク作品を理論的に発表することができるようになる				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は20年以上に及ぶカナダ・アメリカの美容サロン勤務経験を活かし、国内でも各種媒体における多くのヘアメイク・メイクアップの実績を持つ。 確かな知識と技術に基づく様々なメイクアップ方法についての授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	古 荘		
科目名	ファッション学（フォト）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	10
教育目標・ ねらい	撮影時、構図や色合いなどイメージをカメラマンに説明し、イメージ通りに カタチにすることができる				
授業回	学習内容			備 考	
1	カメラの使い方 【到達目標】 カメラの構造 設定、ピント、明度、構図について理解する				
2	カメラの使い方 【到達目標】 シャッタースピード絞り、露出、ISO感度、測光方式、ピント、フォーカスに ついて理解する				
3	写真の色合いを調整する 【到達目標】 ホワイトバランス、色相、彩度、コントラストを理解する				
4	レンズについて レンズによる表現の違いを学ぶ 【到達目標】 単焦点レンズ 広角レンズ 望遠レンズ 魚眼レンズ マクロレンズの特徴を 理解する				
5	人物撮影 バストショット 【到達目標】 学習した撮影の技法を使い、シーンに合わせた撮影が出来るようになる				
到達目標	一眼レフカメラを操り、ヘアデザイン、メイク、ネイル、物撮り、人物撮影など 撮影の基本技術の習得				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象とし ない				
テキスト	プリント				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	ファッション学 (美翔祭【学園祭準備】)	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	18
教育目標・ ねらい	実際にお客様を担当することで、憧れだった職業を現実的に体感し、接客や技術力向上を目指す				
授業回	学習内容			備 考	
1	学園祭技術ブース内容決め 【到達目標】 お客様目線に立ち、喜んでいただける技術内容を決定する				
2～9	技術、接客練習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応えられる技術や接客が提供ができるようになる				
到達目標	学園祭を通し、お客様に満足していただける技術や接客はどのようなものか考え実際におもてなしすることが出来るようになる				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	ホームルーム	学 年	1	実施時期	前期・後期
授業形態	講義/演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	学校生活における学習イメージをつけ、有意義な学校生活を送ることができるようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1	1年次年間スケジュールの確認、時間割、授業概要理解				
2	4月クラス目標、個人目標設定				
3	5月クラス目標、個人目標設定				
4	6月クラス目標、個人目標設定				
5	7月クラス目標、個人目標設定				
6	LHR 夏休み前長期休暇の過ごし方				
7	8月クラス目標、個人目標設定				
8	9月クラス目標、個人目標設定				
9	10月クラス目標、個人目標設定				
10	11月クラス目標、個人目標設定				
11	12月クラス目標、個人目標設定				
12	LHR 冬休み前長期休暇の過ごし方				
13	1月クラス目標、個人目標設定				
14	2月クラス目標、個人目標設定				
15	3月クラス目標、個人目標設定				
到達目標	自身で立てた目標に対し、計画性を持って実行できるようになる				
評価方法	提出課題により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野、唐沢		
科目名	学内コンテスト（匠すと）	学 年	1	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 （単位）	15
教育目標・ ねらい	1年間、もしくは2年間学んできた技術を作品に落とし込み、自身の表現したいものが創れるようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1~15	匠すと 【到達目標】 1年間、もしくは2年間学んできた技術を作品に落とし込み、自身の表現したいものが創れるようになる				
到達目標	授業で学んできた技術の中から得意な技術を探求し、作品で表現することが出来るようになる				
評価方法	課題作品により評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				